

## 「オルハナ」の名にふさわしいサービスをお約束します。

1 お一人おひとりの「楽しむ」その瞬間を大切に、これまで歩んでこられた人生とこれからの、共に向き合い寄り添いながら、ありのままの自分らしく、居心地の良い暮らしを追求します。

2 地域生活支援拠点の事業として、併設する短期入所事業を活用し、「体験の場・機会の提供」及び「緊急時の受入れ」の拠点事業登録を行い、障害者のニーズに合わせた地域生活支援を行います。

3 行政機関や各支援機関、医療機関等と顔の見えるネットワークの構築を図り、伊賀市の暮らしやすい地域づくりに貢献します。

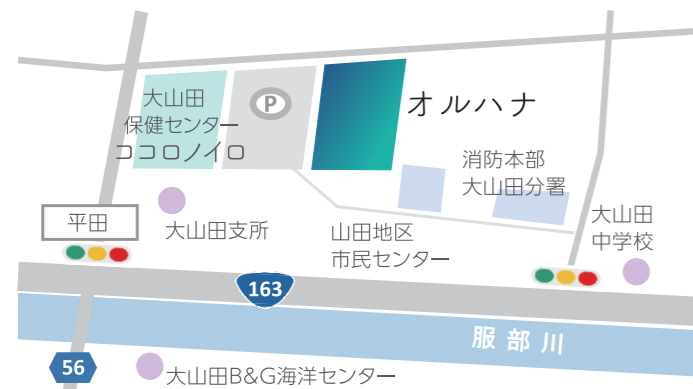


### 施設の概要

施設の種類	短期入所併設 共同生活援助
事業所名	伊賀地域生活支援拠点 オルハナ
所在地	〒518-1422 三重県伊賀市平田641-1
連絡先	TEL :0595-46-0027 FAX:0595-46-0028 Mail:oruhana@n-ikuseien.jp
施設名	北棟:オハナ、南棟:ルアナ
施設の構造	軽量鉄骨平屋建て2棟
定員(①②2棟合計)	共同生活援助事業14名(1棟につき7名) 短期入所事業4名(1棟につき2名)

運営法人:社会福祉法人名張育成会

所在地	〒518-0615 三重県名張市美旗中村2326番地
連絡先	TEL 0595-65-0271、FAX 0595-65-2936



### 「健康経営優良法人・大規模法人部門」に認定

2022年3月、経済産業省と日本健康会議が主催する「健康経営優良法人・大規模法人部門」に認定されました。これを機に、「職員が健康で長く働ける職場」にするためには、どうすれば良いかを考え、更なる取り組みの強化を図ってまいります。

名張育成会は、日本の社会福祉の先駆けとなる活動を続けて60年以上の歴史を持ち、「健康経営優良法人」に認定された社会福祉法人です。

### 施設の案内

**建物内容**  
居室数9、浴室1、相談・休憩室1、リネン室1、  
対面キッチン1、リビング1など  
**間取内容**  
各居室(12.15㎡~12.35㎡)、リビング(共有スペース52.50㎡)  
**防災設備**  
建物内見守りカメラ、自動火災報知機、  
火災通報装置、消火器、ガス漏れ警報器、非常持ち出し用品、  
非常照明器具、スプリンクラーなど

### 職員の配置(予定)

- ①管理者
- ②サービス管理責任者
- ③生活支援員
- ④世話人

### 対象者

- ・障害支援区分4~6の認定を受けている方(区分3以下の方は要相談)
- ・日常生活にサポートが必要な方

### 支援内容

- ・入浴、排せつ、調理、食事等介護支援及び日常生活上の支援
- ・相談支援 ・健康(服薬)管理、通院同行等の支援
- ・金銭管理支援 ・余暇支援
- ・緊急時の対応 など

### 協力医療機関

- ・広島歯科医院 伊賀市平田3418-2
- ・加藤小児科 名張市桔梗が丘5番町2-48

伊賀市に誕生する、伊賀地域生活支援拠点「オルハナ」

重い障害があっても、自分らしく  
住み慣れた地域<sup>まち</sup>で暮らしていきたい...

私たちはこの伊賀の地で、お一人おひとりの想いに、  
いつまでも寄り添ってまいります。



伊賀地域生活支援拠点

## オルハナ

「オルハナ」とは、ハワイ語「Ohana(オハナ)」と「Luana(ルアナ)」の合成語。

それぞれに「Ohana=精神的に支え合う家族・仲間」「Luana=みんなで一緒に楽しみリラックスする」という意味があり、  
私たちの施設にかける思いとして命名しました。

入居者募集中 お問い合わせ (0595)46-0027

社会福祉法人名張育成会 伊賀地域生活支援拠点 オルハナ/三重県伊賀市平田641-1 大山田保健センター隣

<https://www.n-ikuseien.jp/>



重い障害のある人が、「親 亡き後」も地域で暮らし続けるために何が必要か、最適な生活環境を提供するため、さまざまな検討を重ねました。これからも、努力してまいります。

65年にわたる名張育成会のノウハウを、  
建屋の設計段階から余すことなく注ぎ込んでいます。

## 施設の特徴

### ● ゆったりとした居室

1部屋12.15㎡~12.35㎡のゆとりある広さ。また自分だけの空間を演出する差し色(アクセントカラー)を壁の一面に用いています。  
※居室の写真は、ベッドや家具などが備わっていない状態です。



### ● オープンキッチン

キッチンとリビングが一体となり、コミュニケーションが取りやすく温もりのある日々を演出します。



### ● 天窓から注がれる自然光

天窓から自然光が注ぎ込み、明るく開放的な空間を生み出しています。

### ● ベンチのある広い玄関

出入りのひと時、のんびりと一息つける場としてベンチを置いています。



### ● ゾーニングに配慮したトイレ

リビングの両サイドに配置し、縦・横どのゾーンからでもトイレにすぐ向かえるように配慮しました。また、感染症対策にもなっています。



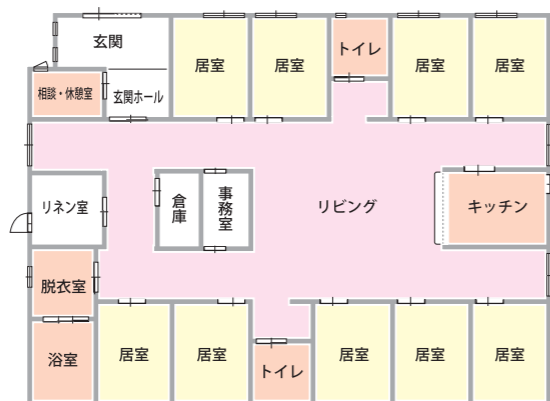
### ● 脱衣室

入浴後にゆったりとできる空間づくりの1つとして、ソファを置いています。



台形のテーブルをパズルのように組み合わせて使う「ヘキサゴンテーブル」で、目的に合わせて広いリビングを有効に活用します。

## 間取り図



地域生活支援の拠点として、  
地域移行や短期入所を支援する  
特徴の数々です。

## サービスの特徴

### ● 体験を利用した無理のない移行

暮らしの変化に対して無理がないよう、体験利用を行いながら暮らしをサポートします。

### ● こだわりのある居室

生活の原点となる個々の空間を大切にするため、居室の広さや壁の色にこだわりました。

### ● 24時間の見守り

24時間支援者がいる状況を作り、安心・安全な暮らしができるよう配慮しています。

### ● 地域との共生

地域の祭り等の行事には、地域の一人として、また担い手として何らかの形で参加していきます。また、入居者の方の“楽しむ”を共に考え、楽しめる環境づくりを行います。

### ● 家の温もり

入居者の人が「帰ると落ち着く」「早く帰りたい」「帰ってゆっくりしたい」と思ってもらえるようにサポートします。



相談室を玄関内に設け、プライバシーに配慮しています。



大型洗濯機2台と乾燥機を備えています。



のどかな里山風景が目の前に広がっています。

## 「伊賀地域生活支援拠点」について

障害者の重度化・高齢化や親亡き後に備えるとともに、地域移行を進めるため重度障害にも対応できる専門性を有し、地域生活において、障害者等やその家族の緊急事態に対応することを目的としています。  
拠点の機能として、障害者が地域で安心して暮らしていけるよう、緊急一時的な短期入所の活用や地域での一人暮らしに向けた、体験的宿泊の居室を確保したり、地域生活を支援するサービス提供体制の調整を図ります。

具体的な取り組みについては、随時ホームページで発表してまいりますのでご確認ください。

<https://www.n-ikuseien.jp/>

